

■ ＊住環境形成計画 《未策定》

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の評価

取り組みの方向	土地利用の基本方針にうたわれた理念の実現を図るため、逗子が潜在的に持つ優れた価値と原風景を再認識し、大局的長期的視点に立ち、住む人にも訪れる人にも優しく、にぎわいとくつろぎ、そして安らぎが生まれる人間らしいスケールのまちをめざします。
	基本的に低層のまち並みの形成を基盤とする中で、地域ごとの整備方針に基づき、地域のまちづくりを進めます。

総括	評価	審議会・懇話会等の総括意見 (個別計画の懇話会等が作成)	
土地利用方針の調査検討について、都市計画変更図書の作成を実施し、原案の縦覧を行うなど、順調に進捗している。 計画的なまちづくり推進事業については、敷地面積の最低限度の基準導入に関して、社会情勢等を考慮し慎重に検討する必要があるため、総合計画に位置付けられた個別計画である「住環境形成計画」の策定を優先して取り組んだことから、総括としては「取り組みの方向」に向けた平成29年度の取り組みは、ある程度達成できたと考える。	B		
		審議会等が妥当と考える評価区分	

◇施策体系別の評価

施策体系	評価	(参考) 予算事業名	コメント	総合評価の状況			審議会・懇話会等の意見
				(a)	(b)	(c)	
1 土地利用方針の調査検討	a	都市計画策定事業	都市計画変更図書の作成を実施し、原案の縦覧を行うなど、順調に進捗している。	1			《事業進行管理表欄再掲》 総合評価については妥当と考える。
2 計画的なまちづくり推進事業	b	計画的なまちづくり推進事業	敷地面積の最低限度の基準導入に関しては、社会情勢等を考慮し慎重に検討する必要がある。そのため、総合計画に位置付けられた個別計画である「住環境形成計画」の策定を優先して取り組んでおり、概ね順調に進捗している。	1			《事業進行管理表欄再掲》 総合評価については妥当と考える。

◇審議会・懇話会等の意見

＜各所管による事業進行管理表の評価状況についての意見＞

＜計画を越えた連携についての意見（他の計画や住民自治協議会等との連携）＞

◇審議会・懇話会等の意見／【Action】の観点からの意見等

＜事業の推進・改善に向けて意見・提案＞（今年度、来年度に向けた意見）

＜個別計画の今後の展開や策定に向けて考慮・検討を要する事項＞（次期計画に向けた意見）

安全安心アクションプラン

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の評価

取り組みの方向	高齢化が進む住宅都市として、「自らの命は自ら守る。皆のまちは皆で守る。」という意識の浸透、自主防災組織の充実及び避難行動要支援者に対する地域での助け合いの取り組み等を広げ、市民自らの防災力の向上を図ります。さらに、情報伝達体制の整備や津波対策の充実、河川の改修等を進め、地震や大雨等の自然災害に強いまちづくり、狭あい道路の整備や消防力の充実など都市災害を防ぐまちづくりを進めます。 また、市民一人ひとりの防犯意識の向上を図り、地域の安全は地域で守るという意識を高め、防犯環境に配慮した環境整備を図り、誰もが安心して暮らすことができる、犯罪の起きにくいまちづくりをめざします。
---------	---

総括	評価	審議会・懇話会等の総括意見 (個別計画の懇話会等が作成)
防犯対策事業については、地域安心安全情報共有システムの防犯情報の登録者数が目標を上回っており、順調に進捗している。 一方、避難行動要支援者支援事業については、支援者の個別支援プランが提出され、地域での助け合いの取組みが広がっているが、推進に当たっては地域の個々の実情にあわせて進めていく必要があるため、総括としては「取り組みの方向」に向けた平成29年度の取組みは、ある程度達成できたと思う。	B	
		審議会等が妥当と考える評価区分

◇施策体系別の評価

施策体系	評価	(参考) 予算事業名	コメント	総合評価の状況			審議会・懇話会等の意見
				(a)	(b)	(c)	
1 避難行動要支援者支援事業	b	災害対策事業	概ね順調に進捗している。 自主防災組織等91団体のうち、6団体32名の個別支援プランが提出され、0.86パーセント達成されているが、本事業を推進するには、地域の理解と、社会福祉協議会等と連携した地域づくりが必要であり、地域の個々の実情にあわせて進めていく必要がある。		1		《事業進行管理表欄再掲》 総合評価については妥当と考える。
2 防犯対策事業	a	防犯対策事務費	地域安心安全情報共有システムの防犯情報の登録者数は目標の9,000人を上回り、順調に進捗している。	1			《事業進行管理表欄再掲》 総合評価については妥当と考える。

◇審議会・懇話会等の意見

＜各所管による事業進行管理表の評価状況についての意見＞

＜計画を越えた連携についての意見（他の計画や住民自治協議会等との連携）＞

◇審議会・懇話会等の意見／【Action】の観点からの意見等

＜事業の推進・改善に向けて意見・提案＞（今年度、来年度に向けた意見）

＜個別計画の今後の展開や策定に向けて考慮・検討を要する事項＞（次期計画に向けた意見）

歩行者と自転車を優先するまちアクションプラン

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の評価

取り組みの方向	自動車交通がもたらす交通事故や交通公害、混雑などを解決するためには、環境負荷の低減を図り、自動車の過度な利用を抑制し、公共交通機関や歩行者、自転車の安全性や利便性、快適性を高める必要があります。
	わたしたちは、歩行者も自転車も優先することができる社会をめざすことにより、豊かで快適、安全な、生活の質(クオリティ・オブ・ライフ)の高いまちづくりを実現します。

総括	評価	審議会・懇話会等の総括意見 (個別計画の懇話会等が作成)
歩行者自転車WSメンバーとの共催で、カーフリーデーを実施するとともに、イベント後援、ステッカー配布など、できることから進めている。	A	歩行者と自転車を優先するまちワークショップ市民メンバー全6名に意見聴取し、うち1名より順調であるとみなせないと意見があった。カーフリーデーの実施など進展した部分はあるが、財政的・人的な制約があることは理解するものの、歩行者と自転車を優先するまちアクションプランの目標年次まで1年足らずということも考慮し、今回の評価区分とした。ワークショップとして、自らも歩行者と自転車を優先するまちアクションプランの進行に責任をもつ立場として、自らの自省と改善を目指すことも含めて、厳しい評価が必要と考える。
		審議会等が妥当と考える評価区分
		B

◇施策体系別の評価

施策体系	評価	(参考) 予算事業名	コメント	総合評価の状況			審議会・懇話会等の意見
				(a)	(b)	(c)	
1 安全で快適な歩行空間の創出	a (b)	歩行者と自転車を優先するまちづくり推進事業	イベント時のステッカー配布による周知活動や道路工事に伴うバリアフリーや景観の視点での取組みを進めてきた。	1	(1)		上記のとおり
2 適切な自転車利用ができる環境づくり	a (b)	歩行者と自転車を優先するまちづくり推進事業	駅前の駐輪場の増設や、イベントの後援やステッカー配布に取り組んできた。また、警察と連携して、交通安全活動や自転車ルール教室を開催した。	1	(1)		上記のとおり
3 公共交通アクセス手段の向上	a (b)	歩行者と自転車を優先するまちづくり推進事業	自治会要望に基づき、バス事業者への要望活動を実施するとともに、高齢者用定期券などの優遇サービスの周知を図った。また、コミュニティバス導入方策を引き続き検討した。	1	(1)		上記のとおり
4 車に頼りすぎない仕組みづくり	a (b)	歩行者と自転車を優先するまちづくり推進事業	歩行者自転車WSメンバーとの共催で、カーフリーデーを実施した。	1	(1)		上記のとおり

◇審議会・懇話会等の意見

＜各所管による事業進行管理表の評価状況についての意見＞

歩行者と自転車を優先するまちワークショップ市民メンバー全6名に意見聴取し、うち1名より順調であるとみなせないと意見があった。カーフリーデーの実施など進展した部分はあるが、財政的・人的な制約があることは理解するものの、歩行者と自転車を優先するまちアクションプランの目標年次まで1年足らずということも考慮し、今回の評価区分とした。ワークショップとして、自らも歩行者と自転車を優先するまちアクションプランの進行に責任をもつ立場として、自らの自省と改善を目指すことも含めて、厳しい評価が必要と考える。

＜計画を越えた連携についての意見(他の計画や住民自治協議会等との連携)＞

◇審議会・懇話会等の意見／【Action】の観点からの意見等

＜事業の推進・改善に向けて意見・提案＞(今年度、来年度に向けた意見)

＜個別計画の今後の展開や策定に向けて考慮・検討を要する事項＞(次期計画に向けた意見)

■ * 公共施設等総合管理計画 《未策定》

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の評価

取り組みの方向	市民の安全で快適な都市生活を維持し、拡充を図るため、高齢化の急速な進展や多様化する社会ニーズに対応し、長期的な視点に立った都市機能の整備が必要です。
	本市の財政状況や限られた土地の利活用の視点、高齢化等への配慮から施設の複合化や多機能化、バリアフリー化を図り、また、地震をはじめとした自然災害等を考慮した都市機能の再編・再整備を計画的に進めます。

総括	評価	審議会・懇話会等の総括意見 (個別計画の懇話会等が作成)
市営住宅整備事業については、市営桜山住宅建替工事に着手し、順調に進捗している。 一方、JR東逗子駅前用地活用事業については、基本構想の策定に向け、庁内プロジェクトチームの検討結果を報告書としてまとめたが、関係者、関係機関との話し合いを平成30年度に実施することとし、進捗状況としては予定より遅延しているため、総括としては「取り組みの方向」に向けた平成29年度の取組みは、ある程度達成できたと考える。	B	
審議会等が妥当と考える評価区分		

◇施策体系別の評価

施策体系	評価	(参考) 予算事業名	コメント	総合評価の状況			審議会・懇話会等の意見
				(a)	(b)	(c)	
1 JR東逗子駅前用地活用事業	b	事業予算なし	(仮称)JR東逗子駅前用地活用に係る基本構想の策定に向け、庁内プロジェクトチームの検討結果を報告書としてまとめた。関係者、関係機関との話し合いには取りかかれなかったが、平成30年度に実施することとしており、概ね順調に進捗している。		1		《事業進行管理表欄再掲》 総合評価については妥当と考える。
2 市営住宅整備事業	a	・市営住宅整備事業 ・住宅管理事業	順調に進捗している。 桜山住宅の計画戸数は25戸であり、平成30年度中に完成した結果として、市営住宅全体としては、4箇所、114戸となる。		1		《事業進行管理表欄再掲》 総合評価については妥当と考える。

◇審議会・懇話会等の意見

＜各所管による事業進行管理表の評価状況についての意見＞

＜計画を越えた連携についての意見（他の計画や住民自治協議会等との連携）＞

◇審議会・懇話会等の意見／【Action】の観点からの意見等

＜事業の推進・改善に向けて意見・提案＞（今年度、来年度に向けた意見）

＜個別計画の今後の展開や策定に向けて考慮・検討を要する事項＞（次期計画に向けた意見）

* 商工業振興計画・小坪海浜地域活性化計画 《未策定》

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の評価

取り組みの方向	市街地を囲むみどり豊かな山や青い海の逗子海岸や小坪漁港、これらの逗子の魅力を国内外に向けて発信し続け、人が集い、ふれあいの輪が広がり、地域のにぎわいが生まれるまちをつくります。
	自然、文化、人という逗子の恵まれた地域資源を、磨き、つなぎ、生かすことにより、地域産業の活性化や個性豊かな産業の創出を図るとともに、住む人、働く人、訪れる人が一体となって、成熟した魅力あふれるまちをつくります。

総括	評価	審議会・懇話会等の総括意見 (個別計画の懇話会等が作成)
逗子海岸保全活用事業については、海水浴客数は順調に推移しており、予定どおり進捗している。 しかしながら、商工業振興事業における(仮称)商工業振興計画の策定に向けた調査研究の進捗状況や小坪海浜地活性化事業における小坪漁港の整備・保全工事のうち一部工事が予定より遅延しているため、総括としては「取り組みの方向」に向けた平成29年度の取り組みの達成状況は十分とは言えない。	C	
審議会等が妥当と考える評価区分		

◇施策体系別の評価

施策体系	評価	(参考) 予算事業名	コメント	総合評価の状況			審議会・懇話会等の意見
				(a)	(b)	(c)	
1 逗子海岸保全活用事業	a	・海水浴場運営事業 ・観光客誘致事業 ・逗子市観光協会助成事業 ・海浜美化推進事業 ・海浜公衆トイレ維持管理事業	平成29年度の海水浴客数は294,300人であり、順調に進捗している。	1			《事業進行管理表欄再掲》 総合評価については妥当と考える。
2 商工業振興事業	c	・逗子市商工会助成事業 ・商工業振興事業	(仮称)商工業振興計画の策定に向けて調査研究を行ったものの、進捗状況が予定より遅延しているため、順調ではない。			1	《事業進行管理表欄再掲》 総合評価については妥当と考える。
3 小坪海浜地活性化事業	c	・水産業振興事業 ・漁港施設維持管理事業 ・漁港施設整備事業	小坪漁港の整備・保全工事のうち、6号船揚場と南防波堤の工事は完了したが、当初予定していた8号船揚場の工事は当面見送ることとしたことから、進捗状況が予定より遅延しているため、順調ではない。			1	《事業進行管理表欄再掲》 総合評価については妥当と考える。

◇審議会・懇話会等の意見

＜各所管による事業進行管理表の評価状況についての意見＞

＜計画を越えた連携についての意見（他の計画や住民自治協議会等との連携）＞

◇審議会・懇話会等の意見／【Action】の観点からの意見等

＜事業の推進・改善に向けて意見・提案＞（今年度、来年度に向けた意見）

＜個別計画の今後の展開や策定に向けて考慮・検討を要する事項＞（次期計画に向けた意見）

■ * 市民自治推進計画 《未策定》

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の評価

取り組みの方向	逗子のまちづくりを担っているのは、市民一人ひとりです。市民が、自分のことだけでなく、他人や地域、自然のことを自分のことのように考え、行動することができる市民の姿が望まれます。
	また、逗子に住み、働き、学び、交わるあらゆる主体が、地域の一員として、考え、行動し、それぞれの関係の中で互いの理解を深め、担い合い支え合うことにより、心豊かな市民自治のまちを実現します。

総括	評価	審議会・懇話会等の総括意見 (個別計画の懇話会等が作成)
市民協働推進事業については、(仮称)市民協働推進条例の制定に向け、着実に取り組みが進んでいる。 一方、(仮称)自治基本条例検討事業は、条例の制定まで時間を要する状況である。 また、地域自治システム推進事業については、5つの小学校区中、住民自治協議会が4つ、住民自治協議会準備会が1つ設立されているが、目標の達成は困難であるため、総括としては「取り組みの方向」に向けた平成29年度の取り組みの達成状況は十分とは言えない。	C	
		審議会等が妥当と考える評価区分

◇施策体系別の評価

施策体系	評価	(参考) 予算事業名	コメント	総合評価の状況			審議会・懇話会等の意見
				(a)	(b)	(c)	
1 (仮称)自治基本条例検討事業	C	(仮称)自治基本条例検討事業	(仮称)自治基本条例の制定に向け、市民参加等による検討を進めたが、2017年度における条文の成熟度や整理すべき課題に鑑みると、目標達成まで時間を要する状況であるため、順調ではない。			1	《事業進行管理表欄再掲》 総合評価については妥当と考える。
2 地域自治システム推進事業	C	地域自治システム推進事業	5つの小学校区中、住民自治協議会が4つ、住民自治協議会準備会が1つ設立されているが、目標の達成は困難であり、順調ではない。			1	《事業進行管理表欄再掲》 総合評価については妥当と考える。
3 市民協働推進事業(市民協働推進条例の制定)	a	市民協働推進事業	(仮称)市民協働推進条例の制定に向け、順調に進捗している。	1			《事業進行管理表欄再掲》 総合評価については妥当と考える。

◇審議会・懇話会等の意見

＜各所管による事業進行管理表の評価状況についての意見＞

＜計画を越えた連携についての意見（他の計画や住民自治協議会等との連携）＞

◇審議会・懇話会等の意見／【Action】の観点からの意見等

＜事業の推進・改善に向けて意見・提案＞（今年度、来年度に向けた意見）

＜個別計画の今後の展開や策定に向けて考慮・検討を要する事項＞（次期計画に向けた意見）

■ずし男女共同参画推進プラン

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の評価

取り組みの方向	その人の持つ「個性や固有の人格そのもの」や「能力」が尊重され、それらが十分に発揮できるまちづくりを推進し、誰もが、性別、国籍、障がい等によって差別されることなく人権が尊重され、自由で平等な参画が保障されているまちをめざします。
---------	---

総括	評価	審議会・懇話会等の総括意見 (個別計画の懇話会等が作成)
今年度は従来の啓発講座に加え、関東学院大学での講義を行い、新しい年代へのアプローチができ、啓発することができた。	B	なかなか普段は啓発のしにくい世代への啓発ができたことは評価できる。幅広い世代への啓発をいろいろな手法を変えて今後行ってほしい。
審議会等が妥当と考える評価区分		B

◇施策体系別の評価

施策体系	評価	(参考) 予算事業名	コメント	総合評価の状況			審議会・懇話会等の意見
				(a)	(b)	(c)	
1 性に関する人権侵害の防止	b	男女共同参画プラン推進事業	講座及び大学での講義を実施したが、いずれも若年層の参加率が低く、当事者に成り得る可能性のある世代への広報・啓発の必要性を改めて認識した。		1		若年層へのアプローチが必要であることから、若年層が参加しやすい事業を引き続き実施してほしい。
2 働く場における男女平等と女性の経済的自立の支援	b	男女共同参画プラン推進事業	働きかけや啓発を継続して行い、女性を含め高齢者以外の雇用拡大を行っている。		1		啓発活動により一層の工夫が必要であると考えます。
3 家庭・地域活動と仕事の両立	b	男女共同参画プラン推進事業	大学での講義で若年層に向けてのアプローチを行った。 また、講座を実施するなど継続して啓発を行っている。		1		今後も目標達成に向け、粘り強く働きかけを行ってほしい。
4 男女共同参画社会を実現するための意識改革	b	男女共同参画プラン推進事業	大学での講義を行い、異性・同性を問わず対等な関係を構築することを伝えることができた。また、性別役割意識の是正を理解してもらえる講座を実施した。		1		関東学院大学での約450人への講義は、今までとは異なる年代へのアプローチになったことに加え、人が元々集まっている場所、仕組みに組み込んでもらうことの効果(多くの人に伝えられる)があるので、他の年代へのアプローチにおいても既存の
5 女性のエンパワーメントによる男女共同参画	b	男女共同参画プラン推進事業	平成29年度の女性相談件数は154件だった。				継続的な支援を引き続き実施してほしい。

◇審議会・懇話会等の意見

＜各所管による事業進行管理表の評価状況についての意見＞

おおむね順調である。

＜計画を越えた連携についての意見(他の計画や住民自治協議会等との連携)＞

◇審議会・懇話会等の意見／【Action】の観点からの意見等

＜事業の推進・改善に向けて意見・提案＞(今年度、来年度に向けた意見)

＜個別計画の今後の展開や策定に向けて考慮・検討を要する事項＞(次期計画に向けた意見)

■ * 情報化推進計画 《未策定》

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の評価

取り組みの方向	ICT(情報通信技術)を積極的に活用することにより、暮らしに関わるあらゆる分野において、より便利で質の高い暮らしができるまちをめざします。
	また、情報化の推進により、あらゆる主体が、自らの活動を発信し、コミュニケーションを豊かにすることで、よりよくつながり、いきいきと暮らせるまちをめざします。

総括	評価	審議会・懇話会等の総括意見 (個別計画の懇話会等が作成)
情報化推進事業において、平成30年7月の情報連携完全開始にむけ、計画通りに順次情報連携を実施する等、順調に進捗していることから、「取り組みの方向」に向けた平成29年度の取り組みは、達成できた。	A	
審議会等が妥当と考える評価区分		

◇施策体系別の評価

施策体系	評価	(参考) 予算事業名	コメント	総合評価の状況			審議会・懇話会等の意見
				(a)	(b)	(c)	
1 情報化推進事業	a	電子計算システム管理事業	平成30年7月の情報連携完全開始にむけ、計画通りに順次情報連携を実施しており、順調に進捗している。	1			《事業進行管理表欄再掲》 総合評価については妥当と考える。

◇審議会・懇話会等の意見

＜各所管による事業進行管理表の評価状況についての意見＞

＜計画を越えた連携についての意見（他の計画や住民自治協議会等との連携）＞

◇審議会・懇話会等の意見／【Action】の観点からの意見等

＜事業の推進・改善に向けて意見・提案＞（今年度、来年度に向けた意見）

＜個別計画の今後の展開や策定に向けて考慮・検討を要する事項＞（次期計画に向けた意見）

■ * 国際交流推進計画 《未策定》

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の評価

取り組みの方向	ICT(情報通信技術)の進化や移動時間の短縮化など、科学技術のめざましい発展を背景に、世界との距離は加速度的に近くなっています。
	市民の誰もが国際性を身につけ、池子米軍家族と培ってきた日米親善交流を礎に、さらに多くの世界の人々や都市との交流、協力を進め、逗子から世界に向けて、世界の恒久平和や調和ある発展についてメッセージを発し、貢献するまちをめざします。

総括	評価	審議会・懇話会等の総括意見 (個別計画の懇話会等が作成)	
国際交流推進事業では、国際理解講座や国際交流イベントを開催したことで、目標を達成している。 また、非核平和推進事業では、非核平和に関するイベントを開催したことで、目標に近づけることができたため、「取り組みの方向」に向けた平成29年度の取り組みは、達成できた。	A		
		審議会等が妥当と考える評価区分	

◇施策体系別の評価

施策体系	評価	(参考) 予算事業名	コメント	総合評価の状況			審議会・懇話会等の意見
				(a)	(b)	(c)	
1 国際交流推進事業	a	・国際交流推進事業 ・まちづくりトーク事業	国際理解講座(フェアトレード啓発事業)及び国際交流イベント(子どもの国際交流プレイデー事業)を開催したことで目標を達成しており、順調に進捗している。	1			《事業進行管理表欄再掲》 総合評価については妥当と考える。
2 非核平和推進事業	a	・非核平和推進事業 ・ずし平和デー開催事業	新規に参加した市民団体の企画も含め非核平和に関するイベントを開催し、目標に近づけることができおり、順調に進捗している。	1			《事業進行管理表欄再掲》 総合評価については妥当と考える。

◇審議会・懇話会等の意見

＜各所管による事業進行管理表の評価状況についての意見＞

＜計画を越えた連携についての意見（他の計画や住民自治協議会等との連携）＞

◇審議会・懇話会等の意見／【Action】の観点からの意見等

＜事業の推進・改善に向けて意見・提案＞（今年度、来年度に向けた意見）

＜個別計画の今後の展開や策定に向けて考慮・検討を要する事項＞（次期計画に向けた意見）